

ごあいさつ



組合員をはじめ地域の皆さまには、平素より格別なるご愛顧、お引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

本年も当JAに対するご理解を一層深めていただくため、主な事業の内容や組織概況及び経営の内容などについて、分かりやすくまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。皆さまが当JAの事業を安心してご利用いただくための一助として、ぜひご一読いただきますようお願い申し上げます。

さて、令和3年度は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるなど、経済の好転が期待されましたが、変異株の発生等により、不安定な景況が続きました。

そのようななか、「JAなんすん3か年計画～新時代への挑戦、農業の飛躍・経営の革新～」の中間年度として、農家組合員の農業所得向上とJA経営基盤の強化を目指し、計画に基づいた取り組みをさらに進めました。

本年1月には、金岡産直市・KAU～ら・長泉産直市・すそのふれあい市の4つの産直市を直営化し、地域農畜産物の販売拠点の強化を図りました。また、内部管理体制の強化、組合員加入者の増強等に取り組み、持続可能な経営基盤の構築に努めました。

令和4年4月1日には東部地区8JAが合併し、経営理念「富士伊豆からつなぐ～大地と地域と農業のみらい～」のもと、富士伊豆農業協同組合が誕生しました。事業規模で全国有数のJAとなり、スケールメリットを生かした戦略的事業運営を進めるとともに、組合員や地域の皆さまの利便性を追求したサービス向上に努めてまいります。

これからも地域の皆さまに愛され、信頼されるJAを目指してまいりますので、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月

代表理事組合長

鈴木正三